

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 託麻会

- ◎ 障害者支援施設 「朋暁苑」
- ◎ 生活介護事業所 地域生活支援センター
「託麻大地」
- ◎ 共同生活援助事業所 グループホーム
「まんまん」
- ◎ 朋暁苑指定相談支援事業所

基本方針

- 1 人として共に生き「個人としての尊厳を重視」した豊かな生活の場とする。

利用者が自立して生活できるよう、利用者個々の生活内容に応じて援助し、かつ、利用者の自己選択・自己決定を尊重した生活ができるよう支援する。

- 2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。

職員は、社会福祉業務に携わる社会的責任を自覚し、専門的な知識・技術などを習得して、日常業務の中に反映させるとともに、苑の使命達成のため誠実に業務の推進に努める。

- 3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。

関係各機関・団体などとの連携を深めるとともに、ショートステイなどの居宅支援事業の実施により、地域福祉サービスの拠点としての体制整備に努める。

経 営 理 念

1 (利用者の尊重)

利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

2 (自立支援)

利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができる支援をします。

3 (安心した生活)

利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。

4 (地域との連携)

地域住民またはその自発的な活動等との連携協力を行う等の地域との交流につとめ、地域の福祉サービスの拠点を目指します。

施設の概要

令和4年3月31日現在

施設名	朋 暁 苑	運営主体	社会福祉法人 託麻会	設立年月日	平成6年7月1日	定員	80名
種 別	障害者支援施設	所在地	熊本市東区小山町2210番地	理事長	満永寿博	施設長	満永 勝士
敷 地	7,280.75㎡ *居室 2人部屋 40室						
建 物	平屋 3,029.87㎡ 1人部屋 ALS室2部屋 ショートステイ4部屋 *特別浴室／一般浴室／脱衣室／食堂／機能回復訓練室 *その他(事務室／会議室／医務室／相談室／厨房／ケア室等)						
入所者定員	80名		入所者現員	78名			
常勤職員数	56名		非常勤職員数	6名			
入所者の状況	障害支援区分の割合	1…0人、2…0人、3…0人、4…2人、5…11人、6…65人					
	障害・疾患別割合	脳性まひ	33%	脳血管障害	17%	脊髄損傷	1%
		特定疾病(介護保険適用)	27%		特定疾患(難病)	5%	
		その他	22%	<small>*「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病など)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。</small>			
	年齢構成	30歳未満	12%	30～39歳	6%	40～49歳	4%
		50～59歳	9%	60～69歳	28%	70歳以上	41%
	重複障害等の状況	視覚障害	10%	てんかん	38%	知的障害	45%
		認知症	3%	精神障害	12%	遷延性意識障害	3%
	意思疎通の状況	意思疎通は可能	49%		意志疎通はやや困難	25%	
		意思疎通は極めて困難	18%		判断が難しい	8%	
施設が実施する在宅福祉サービスの現状	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業・日中一時支援事業(4名)・相談支援事業 ・生活介護事業(80名) ・施設入所支援(80名) 						
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション・日中活動を実施し日中サービスの充実を図っている。また、地域に開かれた施設を目指し積極的に地域交流を図っている。 ・利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成し、希望に沿った生活の実現に努めている。 						
【基本方針】							
1 人として共に生き「個人としての尊厳を重視」した豊かな生活の場とする。							
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。							
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。							

令和3年度 朋暁苑事業報告書

月	会議等	行事等	保健衛生等	研 修 会 等
4月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃	厨房内害虫駆除 美化作業 職員健康診断	
5月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃	厨房内害虫駆除 美化作業 利用者健康診断	熊本県社会福祉法人経営者協議会 九州ブロック社会福祉法人経営青年会
6月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 外出支援 アイスクリーム会	厨房内害虫駆除 衣替え 美化作業 ワクチン接種 (コロナウイルス 65歳以上)	熊本県障害者支援施設協議会 経営研修会・災害派遣福祉チーム研修会 リスクマネジメント研修
7月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 外出支援 アイスクリーム会	厨房内害虫駆除 美化作業 ワクチン接種 (コロナウイルス 65歳以上 2回目)	サービス管理責任者等更新研修 熊本県身障協 サービス向上研修会 熊本県社会福祉法人経営青年会
8月	行事運営会議 給食会議・懇談会 各種委員会 処遇会議 感染症対策会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 ドライブ かき氷お楽しみ会	厨房内害虫駆除 美化作業 ワクチン接種 (コロナウイルス 64歳以下)	障害者施設職員研修会(新任職員コース) 熊本市社会福祉施設連合会 青年会組織・人材マネジメントセミナー モチベーションアップ研修会
9月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議 感染症対策会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃	美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス 64歳以下 2回目)	管理職員研修会 OJT研修会

10月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 ドライブ	衣替え 美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス 64歳以下 2回目)	若手社員研修 ビジネスマナーと印象アップ 相談支援従事者現任研修 青年会タイムマネジメントセミナー
11月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 ショッピング 託麻大地交流会 文化祭	予防接種 (インフルエンザ) 美化作業 厨房内害虫駆除 職員健康診断	九州ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー 新型コロナウイルス感染防止対策研修会 モチベーションアップ研修会 労務管理研修会 介護福祉士実習指導者研修会
12月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 クリスマス会	厨房内害虫駆除	成年後見人制度利用促進研修会 熊本県喀痰吸引等研修 第三号研修
1月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議 感染症対策会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 調理実習	美化作業 厨房内害虫駆除	SDGs知っておきたい基礎講座 相談援助実習指導者連絡協議会 熊本県サービス管理責任者更新研修 心理的安全性×青年会会員の実践 青年会 労務管理研修会
2月	給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 カラオケ大会 個別支援外出 調理実習	美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス 3 回目)	九州障害者支援施設研究大会
3月	行事運営会議 各種委員会 処遇会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 お花見外出	美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス 3 回目)	熊本県社会福祉法人経営者セミナー

令和3年度 利用者支援実績

1. 生活介護事業

令和3年度も利用者のニーズと想いをしっかりと汲み取り個別支援計画を作成、目標達成に向け専門職や担当職員にて支援することができた。

日中活動においては、新型コロナ対策としてソーシャルディスタンスを意識しながら少人数の集団を形成し、ストレス解消を目的にユーチューブ（動画）やアクティビティー用具を活用した室内運動やクイズ・連想ゲーム等の脳トレを行った。また、外出支援や調理実習も外出する場所や調理内容の工夫、実施する回数を増やし、参加人数を少なくする等、感染症対策を行いながら、利用者のストレス軽減に繋がるような計画立案・支援を行った。

2. 施設入所支援

利用者の重度化・高齢化が顕著に見られている中で、身体機能の低下や入院に至るケースが増えてきていることを受け、担当職員や看護師等の専門職による日々の身体状況や健康状態の把握を行い異常時の早期発見に努めた。今後も通院や入院に至るケースが増えることが予想されるため引き続き専門職間の連携を密にして支援していきたい。

また、夜間帯でも看護師を配置したことで、要観察者の継続した状態把握と状況に応じた早期対応を行うことができた。

健康管理については協力医療機関・保健所の助言指導を頂きながら、生活部・看護師・感染症対策委員会が中心となって新型コロナ感染予防対策を実施、利用者・ご家族にも最新の情報を提供しながら蔓延防止に努めた。

3. 苦情解決について

利用者・ご家族からの相談・要望・苦情については、ご意見箱を設置すると共に相談窓口を設け、迅速かつ丁寧に対応した。令和3年度の苦情(要望も含む)は、5件(利用者本人2件・家族3件)で本人・家族及び関係者と話し合いを行いすべて円満解決した。

4. 虐待防止、権利擁護、障害者差別解消法について

虐待防止委員会、研修委員会を中心に権利擁護・障害者虐待防止法・障害者差別解消法についての研修機会を設け啓発活動を心掛けた。毎年11月に実施している虐待防止早期発見チェックリストの活用により全職員で自身の業務態度を振り返り虐待防止意識を高める事ができた。また、身体拘束廃止検討委員会にて毎月拘束廃止に向け協議する場を設け、3名の利用者の胸ベルトを廃止することが出来た。

【令和3年度の実習生・ボランティア受け入れ状況】

【実習生】

ソーシャルワーク (社会福祉士)実習		0名
介護実習		0名
実務者研修	三幸福祉カレッジ	1名
	総合プラント	2名

令和3年度の実習生については計3名を受け入れた。コロナ禍で実習生を受け入れるにあたっては、当施設でも新型コロナ感染対策を事前に協議、また学校側の学生に対する細かい実習指導もあり、感染者が出る事もなく無事に全日程終了した。

【地域交流事業・ボランティア受け入れ状況】

ボランティア	なし
体験学習	なし

年間行事計画や地域活動行事が新型コロナウイルス感染流行による中止に伴い、ボランティアの受け入れ・体験学習(ジュニアボランティアスクール・交流会等)での来苑者とも0人であった。

自宅帰省や外出、ボランティア等地域や人と関わりを自粛して頂いている状況下ではあるが、県内外の感染者数等をみながら、他の施設と情報共有し、家族や友人、知人等との面会や外出・外泊を可能な範囲で制限解除を行っていき、継続した関係構築に繋げることができたと考える。

令和3年度 クラブ・日中活動実績

クラブ名	活動回数	参加人員	主な活動内容
園芸	年3回	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> 季節の花(チューリップやパンジー、ひまわりスノーボール等)を利用者の方がプランターや花壇に植える事で四季を楽しむ事が出来た。生長過程をiPadで撮影する等して楽しまれた。 正月には門松や生け花を觀賞していただき、新年度を迎える事が出来た。
調理・お茶会	年6回	20~50名程	<ul style="list-style-type: none"> 夏にアイスクリーム会や、かき氷お楽しみ会を開催し、好きなトッピングやシロップを選んで頂く事で、自ら選ぶ楽しさと甘味を楽しむという事を堪能して頂くことが出来た。 文化祭ではお店で販売されているケーキを事前に用意し、食され一緒に珈琲、紅茶、オレンジジュースを楽しむ事が出来た。 会場を装飾する事でカフェの雰囲気を楽しむ事が出来た。 利用者同士のコミュニケーションの場としても楽しい時間を提供することが出来た。 調理実習では食事形態を考慮してプリンとコーヒーゼリー作りを行った。午前中に調理、実食を午後からと分けることで、利用者の方々にゆっくり楽しんで頂く事が出来た。
音楽	月3~4回 (日中活動計画に応じて)	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をとりながら、童謡や昭和の名曲、現代流行りの音楽に合わせ職員と歌を歌ったり、楽器や手拍子でリズムを取り、賑やかで楽しい音楽活動をする事ができた。 インターネットを活用したカラオケを取り入れ、年代に応じて幅広い歌を楽しむ事ができた。カラオケ大会も年に2回開催することが出来た。
リフレッシュ運動	年4~5回	20名程	<ul style="list-style-type: none"> 春先や秋頃の気候の良いときに苑庭に出て、動かせる範囲で軽体操ボールを使って体を動かし気分転換を図る事が出来た 苑内ホールにて卓球バレーを行い、盛り上がる事ができた。
手紙塗り絵	年2回 (塗り絵定期的)	20名程	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援ではボールペンなどで書字や記名を練習し、ご家族や友人に手紙・絵手紙をだすことが出来た。 色々な絵を取り入れ塗り絵を楽しむ事が出来た。 感染症対策の為、ご家族との面会も少なくなった中で、暑中見舞いや、年賀ハガキを作成し、送ることで交流を図る事が出来た。
日中活動	月・火・水・木・金	78名	<ul style="list-style-type: none"> 月曜から金曜まで午前と午後に分け、感染症対策を行った上で、出来る範囲での活動を行うことが出来た。 気候の良い時(3~5月、10~11月)には、屋外で植物觀賞やキャッチボールなど外気浴の活動も取り入れた。 個別支援計画内容に合わせた個別の自主活動を取り入れ、個別支援目標達成へ向け取り組む事が出来た。

利用者現況表

(令和3年3月31日現在:利用者78人)

1 利用者の病症類別 — 性別・障害等級・年齢

障害の状況 属性		入所者の主たる障害・疾患											合計		
		脳性麻痺・脳性小児麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	知的障害	ダウン症	頸椎損傷・頸部外傷	その他	【難病】						
									脊髄小脳変性症	後縦靭帯骨化症					
性別	男性	16	9	5	2	3	0	9	1	1					46
	女性	11	3	1	2	2	1	10	2						32
	計	27	12	6	4	5	1	19	3	1					78

身体障害者手帳等級	1級	22	12	5		1	1	14	2						57
	2級	2		1	1			3	1	1					8
	3級	1			2	1									4
	4級					1		1							2
	5級														
	6級				1										1
	なし	2				2		1							6
	計	27	12	6	4	5	1	19	3	1					78

年齢構成別	30未満	男	3													3	
		女	3				1		2								6
	30~39	男	1		1					1							3
		女	1							1							2
	40~49	男	1	1			1										3
		女															0
	50~59	男	1	1		1	1										4
		女	1				1		1								3
	60~64	男	1	1			1		4								7
		女	2	1					1	1							5
	65~69	男	3		1						1						5
		女	1	1		2			1								5
	70以上	男	6	6	3	1			4								20
		女	3	1	1			1	6								12
	計	男	16	9	5	2	3		8	1	1						45
		女	11	3	1	2	2	1	11	2							33

2 移動状況

区 分		車椅子使用	電動車椅子使用	歩行可能	歩行器・装具使用	計
男	要介助	25	0	2	0	27
	自立	14	0	2	0	16
女	要介助	18	1	1	0	20
	自立	11	2	2	0	15
計	要介助	43	1	3	0	47
	自立	25	2	4	0	31

3 介護状況

区 分	洗面	更衣	食事	排泄	入浴
全面介助	39	58	13 胃ろう10 鼻腔2	47 カテーテル5	56
一部介助	21	14	16	23	19
自立	18	6	37	3	3
計	78	78	78	78	78

5 障害支援区分

区分 6	65
区分 5	11
区分 4	2
区分 3	0
計	78

4 出身市町村別人員

所 轄 別	人員	所 轄 別	人員	所 轄 別	人員
熊本市	56	合志町	2	天草市	1
八代市	2	益城町	3		
山鹿市	2	甲佐町	1		
阿蘇市	2	山都町	1		
宇土市	0	大津町	1		
大牟田市	1	球磨村	1		
菊陽町	2	南阿蘇村	0		
湧水町	1	阿蘇郡	2	計	78

令和3年度 朋暁苑(生活介護) 利用状況

(単位:人)

月別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	82	1,609	84	1,623	14
5月	75	1,665	81	1,703	38
6月	84	1,612	83	1,617	5
7月	83	1,726	84	1,714	-12
8月	83	1,759	84	1,701	-58
9月	84	1,645	85	1,650	5
10月	82	1,686	84	1,778	92
11月	80	1,557	82	1,652	95
12月	80	1,628	83	1,730	102
1月	75	1,634	83	1,715	81
2月	74	1,415	78	1,518	103
3月	80	1,631	78	1,690	59
合計	962	19,567	989	20,091	524
			前年比		102.7%

(単位:人)

市町村	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
大牟田市	1	259	1	242	-17
熊本市	56	13,258	54	12,943	-315
八代市	3	460	2	538	78
玉名市	1	200	1	242	42
山鹿市	2	487	2	493	6
上天草市	0	0	1	202	202
宇城市	1	269	1	269	0
阿蘇市	2	516	2	538	22
合志市	2	538	3	759	221
和水町	1	269	1	263	-6
大津町	1	269	1	268	-1
菊陽町	4	973	4	960	-13
西原村	2	434	2	513	79
南阿蘇村	2	124	1	1	-123
益城町	3	440	5	799	359
甲佐町	1	230	1	236	6
山都町	1	269	1	268	-1
多良木町	1	31	1	37	6
相良村	1	31	1	36	5
球磨村	1	251	1	261	10
湧水町	1	259	1	223	-36
合計	87	19,567	87	20,091	524

(単位:人)

区分	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0
区分4	5	760	5	789	29
区分5	13	2,002	15	2,910	908
区分6	71	16,805	68	16,392	-413
合計	89	19,567	88	20,091	524
	平均支援区分合計	113,880	平均支援区分合計	116,058	
	平均障害支援区分	5.8	平均障害支援区分	5.8	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和3年度 短期入所 利用状況

月 別

(単位:人)

月 別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	10	39	17	73	34
5月	13	59	14	62	3
6月	14	53	15	54	1
7月	14	59	13	54	-5
8月	12	51	12	43	-8
9月	13	66	7	19	-47
10月	18	74	17	73	-1
11月	15	54	16	60	6
12月	15	57	17	82	25
1月	13	57	18	70	13
2月	14	54	11	65	11
3月	16	73	3	38	-35
合 計	167	696	160	693	-3
			前年比		99.6%

市町村別

(単位:人)

市町村	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	18	601	24	548	-53
山鹿市	0	0	1	60	60
菊池市	1	48	1	33	-15
合志市	1	16	0	0	-16
大津町	2	7	0	0	-7
菊陽町	2	24	3	52	28
益城町	0		0		0
合 計	24	696	29	693	-3

障害区分別

(単位:人)

区 分	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	3	73	73
区分4	0	0	1	11	11
区分5	4	37	8	62	25
区分6	15	461	13	400	-61
障害児1	0	0	0	0	0
障害児2	0	0	0	0	0
障害児3	6	198	5	147	-51
合 計	25	696	30	693	-3
	平均支援区分合計	3,545	平均支援区分合計	3,414	
	平均障害支援区分	5.1	平均障害支援区分	4.9	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和3年度 日中一時 利用状況

(単位:人)

月 別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	4	22	4	24	2
5月	2	14	4	19	5
6月	3	13	6	21	8
7月	4	17	4	27	10
8月	4	42	4	26	-16
9月	4	17	2	8	-9
10月	4	18	2	9	-9
11月	6	21	4	18	-3
12月	4	13	3	12	-1
1月	3	23	4	12	-11
2月	2	5	1	4	-1
3月	4	21	0	0	-21
合 計	44	226	38	180	-46
			前年比		79.6%

(単位:人)

市町村別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	6	218	7	152	-66
菊陽町	1	1	1	1	0
益城町	1	7	1	27	20
合 計	8	226	9	180	-46

(単位:人)

障害区分別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	1	4	0	0	-4
区分3	1	3	0	0	-3
区分4	0	0	0	0	0
区分5	1	19	1	2	-17
区分6	4	69	6	66	-3
障害児1	0	0	0	0	0
障害児2	0	0	1	2	2
障害児3	1	131	1	110	-21
合 計	8	226	9	180	-46
	平均支援区分合計	919	平均支援区分合計	740	
	平均障害支援区分	4.1	平均障害支援区分	4.1	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和3年度リハビリテーション実施状況

●朋晝苑

作業療法士1名

(理学療法士1名)

●朋晝苑のリハビリテーション実施項目に対する利用者数

理学療法	関節可動域訓練、ストレッチ	37
	筋力維持・増強訓練（錘、徒手抵抗など）	9
	プーリー（滑車運動）	14
	エルゴメーター	2
	空気圧マッサージ（メドマー）	6
	立位訓練（助木、平行棒）	23
	歩行訓練（平行棒、歩行器、杖）	20
	物理療法（ホットパック）	21
	座位保持訓練	5
	自助具・福祉機器操作	8
	嚥下訓練	8
	発語訓練	3
	作業活動（塗り絵、計算課題、パズルなど）	23
	補装具申請	18

●評価

- ・個別支援計画、リハビリテーション実施計画書に基づいた機能訓練
- ・機能低下による嚥下障害に対して、嚥下訓練
- ・褥瘡や転倒予防に対して、ポジショニングや体位交換方法の職員研修
- ・機能低下や構音障害による発語不明瞭な方への発語訓練
- ・リハビリの一環として、パソコン・タブレット入力支援
- ・視覚障害者の情報機器支援として、視覚障害者用パソコンを仕様設定
- ・ノーリフト介護の普及の一環として、移乗介護ロボットの導入

●今後の課題

今後も幅広く生活に即したリハビリテーションを行うことで、利用者のADL全般にかかわり、利用者がより良く生活できるように取り組んでいく。また定期的な職員研修を実施し、支援員のスキル向上に努める。

令和3年度 医 務 業 務 実 績

◎医務体制

嘱託医 本庄内科病院 1週間に1回来苑（第1週のみ月・木 来苑）

歯科医 堀田歯科 1週間に1回来苑（金曜日）

◎看護師 7名で利用者・職員の健康管理にあたる。

◎年間入院者 52名

傷病名	人員	傷病名	人員
尿路感染症	1名	右外鼠径部靭帯損傷	1名
イレウス	1名	右大転子部骨頭部骨折手術	1名
腸炎	4名	気管支炎	11名
心不全	1名	新型コロナウイルス感染	9名
蜂窩織炎	3名	意識レベル低下	1名
肺炎	16名	検査入院	3名

◎死亡 1名

・うっ血性心不全1名

◎医療的ケアの必要な利用者

・吸引10名（口腔内 10名・カニューレ1名）

・バルーンカテーテル留置4名 膀胱瘻1名

・経管栄養12名（胃瘻10名・鼻腔栄養 2名）

◎人工透析 2名、週3回（仁誠会クリニックながみね、西日本病院にて送迎）

◎インフルエンザ予防接種（74名）施行し、インフルエンザ感染者0名。

◎コロナウィルスワクチン接種1回目77人 2回目75人3回目62人

【評価】

利用者の重度、高齢化に伴い内科的疾患の入退院が多くなっている。それに伴い職員に対し観察を含む知識や技術的指導を行った。又、病院との情報交換、相談を行い早期の入退院の調整を行った。感染に関しては、インフルエンザ、ノロウイルスの感染者はなかった。新型コロナウイルス感染に対してはR3.8月、R4.3月に2回クラスターを引き起こしてしまった。それに伴い職員、利用者の健康管理の徹底、感染対策の周知指導を行っている。引き続き取り組んでいく。

【今後の課題】

利用者の高齢化に伴い、重症化や急変しやすい傾向にあるため、変化がある際は早期対応、急変時の対応について看護師をはじめ支援員への指導を行う必要がある。又、医療的ケアが必要な利用者が増えている為、安全にケアを提供できるよう、定期的な講習会を継続して行い、職員のスキルアップを図る。感染予防にも引き続き、感染対策を周知徹底し職員全体で取り組んでいく。

令和3年度 受診状況

協力医療機関（本庄内科病院・西日本病院・保田窪整形外科病院・熊本セントラル病院
 ・くまもと青明病院・仁誠会クリニックながみね）
 ・戸山外科横田皮膚科 . 熊本赤十字病院

(単位：人)

診療科目	令和元年	令和2年	令和3年
循環・内科	169	167	166
皮膚科	11	10	29
整形	6	29	24
泌尿器	5	1	41
眼科	24	9	7
透析	318	300	330
精神科	54	113	163
乳腺外科	4	4	12
耳鼻科	12	11	2
婦人科	0	0	2

苑内における診察

(延べ人数)

年度	嘱託医による診察	歯科
令和元年度	1137	132
令和2年度	1066	102
令和3年度	1842	110

令和3年度栄養業務実績

形態別

一口サイズ食	16名
粗きざみ食	13名
きざみ食	31名
ミキサー食	6名
流動食	12名
計	78名

食種別

1000 kcal	6名
1200 kcal	11名
1400 kcal	21名
1600 kcal	18名
1800 kcal	4名
2000 kcal	6名
流動食	12名
計	78名

療養食の内訳

糖尿病食	4名
腎臓病食	2名
脂質異常症食	10名
計	16名

主食形態別

御飯	20名
二度炊き	25名
全粥	16名
全粥ミキサー	5名
流動食	12名
計	78名

行事食の状況

4月		みどりの日
5月		節句
6月		
7月		七夕 お盆
8月		
9月		敬老の日 彼岸
10月		
11月		
12月	クリスマス会	
1月	正月	七草 鏡開き
2月		節分 バレンタイン 建国記念
3月	花見弁当	ひな祭り

評価

- ・前年、補助食を外せそうな方は外して食事量を調整しましたが、また嚥下困難や食事の負担が大きい方、たんぱく質追加の指示が出た方などで現在13名の方に補助食を提供していますが減少は難しくなっている。
- ・自力で食事摂取される方も少なくなり、食事介助を必要な方が17名と大変多くなり後介助を含めると半数以上の方に介助が必要になり介助量も増える一方になりました。
- ・今年度はコロナウイルスの関係で行事食はクリスマス会、正月、花見弁当と食事のみにしました。季節的な食事は、食事の変化を楽しんで頂くために随時取り入れました。
- ・食事の楽しみを味わって頂くためドライブスルーなどでいろんなところへ出かけました。

地域生活支援センター託麻大地の概要

令和4年3月31日現在

施設名	地域生活支援センター託麻大地	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員20名		
種別	生活介護事業	所在地	熊本市東区戸島町461-1	理事長	満永 寿博	管理者	満永 勝士	
敷地	948.39㎡							
建物	平屋 395㎡							
* ホール、浴室、脱衣室、多目的ホール、和室、 相談室、静養室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等								
利用者定員	20名		利用契約者数	51名				
常勤職員数	16名		非常勤職員数	3名				
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 32人 区分5 11人 区分4 6人 区分3 2人 区分2 0人						
	障害・疾患別割合	脳性まひ	33%	脳血管障害	9%	脊髄損傷	0%	
		特定疾病(介護保険適用)		3%	特定疾患(難病)			9%
		その他	43%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病等)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。				
	年齢構成	30歳未満	27%	30～39歳	33%	40～49歳	7%	
		50～59歳	9%	60～69歳	13%	70歳以上	7%	
	重複障害の状況	視覚障害	8%	てんかん	23%	知的障害	79%	
		認知症症状	0%	精神科疾患	6%	遷延性意識障害	2%	
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		37%	意思疎通はやや困難			5%
		意思疎通は極めて困難		29%	判断が難しい			27%
施設と地域との交流状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学や特別支援学校等の体験学習では教員や家族と協力し積極的に受け入れ実施。 法人内行事時に地域ボランティア等を招き交流の機会を確保している。 							
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士と連携を図りながらリハビリテーション実施計画書に基づいて訓練を提供している 食事制限がある利用者に対して看護師や管理栄養士と連携を図り、安全で適切な食事提供を実施している。 熊本市を中心に近隣町村までの、幅広いエリアの利用者を受け入れ、家族と連携を図りながら送迎サービスを実施している。 							
【基本方針】								
1 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。								
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。								
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。								

令和3年度 託麻大地生活介護事業報告

令和3年度についても新型コロナウイルス感染流行の中での運営となったが、本人・ご家族のご協力とご理解、また、出入り業者の立ち入り禁止等感染対策を徹底したことで利用者の感染者はなかった。流行時期によっては年間行事を中止せざるを得ない状況があったが、臨機応変に代替活動を提供したことで利用者から笑顔が見られたことについては来年度の参考としたい。

新規契約者は4名で、個別支援計画に基づいた支援と本人のニーズに沿った支援を行い、他の利用者との交流を深めながら安定したサービス利用に繋がっている。機能訓練については利用者の意向に沿ったプログラムを理学療法士より提供し訓練意欲が継続して見られている。また、熊本学園大学よりソーシャルワーク(相談援助)実習生2名と九州保健福祉大学(宮崎県)よりソーシャルワーク実習生1名を受け入れた。苦情については6件で、本人・家族と話し合いを行い円満に解決した。

令和4年度も楽しみながら意欲的に参加できる日中活動の実施と、生活意欲向上に繋がる充実した機能訓練を提供し、かつ安心・安全に利用頂ける施設運営に努めていく。

月	行事	地域交流 施設見学 体験実習
4月	春季運動会(ゲートボール大会) 誕生会(4月～7月)・茶話会	
5月		
6月		
7月	アイス会	施設見学4組
8月	誕生会(8月～11月)・茶話会	施設見学1組
9月		施設見学1組
10月	秋季運動会(ポッチャ大会) ドライブ(新阿蘇大橋)	施設見学2組
11月	託麻会文化祭・茶話会	黒石原支援学校3年(女性1名) 施設見学1組
12月	クリスマス会・茶話会	熊本はばたき高等支援学校3年(女性1名)
1月	新春ゲーム大会 誕生会(12月～3月)・茶話会	
2月		
3月	春の散策会	

令和3年度 託麻大地(生活介護) 利用状況

月別

(単位:人)

月別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	42	524	44	582	58
5月	42	563	42	596	33
6月	43	537	42	580	43
7月	43	584	43	596	12
8月	43	554	42	596	42
9月	41	542	42	607	65
10月	42	573	44	638	65
11月	44	556	45	619	63
12月	45	651	46	660	9
1月	41	610	45	608	-2
2月	42	590	42	525	-65
3月	44	642	43	690	48
合計	512	6,926	520	7,297	371
			前年比		105.4%

市町村別

(単位:人)

市町村	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	239	1	258	19
熊本市	29	3,336	29	3,392	56
菊池市	0	0	1	123	123
合志市	1	155	1	131	-24
大津町	1	211	1	234	23
菊陽町	5	678	5	567	-111
西原村	2	179	1	257	78
南阿蘇村	2	372	2	415	43
御船町	1	25	0	0	-25
益城町	4	987	4	1,003	16
多良木町	1	224	1	226	2
相良村	1	236	1	227	-9
球磨村	2	284	2	464	180
合計	50	6,926	49	7,297	371

障害区分別

(単位:人)

区分	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	3	407	2	325	-82
区分4	7	749	6	1,063	314
区分5	10	1,821	11	1,807	-14
区分6	33	3,949	32	4,102	153
合計	53	6,926	51	7,297	371
	平均支援区分合計	37,016	平均支援区分合計	38,874	
	平均障害支援区分	5.3	平均障害支援区分	5.3	

※区分変更の為、利用者数重複あり

グループホームまんまんの概要

令和4年3月31日現在

施設名	グループホームまんまん	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員20名						
種別	共同生活援助事業	所在地	熊本市東区戸島町459-1	理事長	満永 寿博	管理者	斉藤 愛子					
敷地	A棟 767.99㎡		B棟 903.36㎡									
建物	平屋 A棟 282.93㎡		B棟 277.06㎡									
	*各棟:居室10部屋、ホール、浴室、脱衣室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等											
利用者定員	20名		利用契約者数	20人								
常勤職員数	4名		非常勤職員数	6名								
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 3人		区分5 9人		区分4 6人		区分3 2人		区分2 0人		
	障害・疾患別割合	脳性まひ	25%		脳血管障害	25%		脊髄損傷	0%			
		特定疾病(介護保険適用)	10%				特定疾患(難病)	25%				
		その他	40%		※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病など)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。							
	年齢構成	30歳未満	5%		30～39歳	15%		40～49歳	0%			
		50～59歳	15%		60～69歳	35%		70歳以上	30%			
	重複障害の状況	視覚障害	25%		てんかん	5%		知的障害	40%			
		認知症症状	0%		精神科疾患	10%		遷延性意識障害	0%			
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		100%		意思疎通はやや困難		0%				
		意思疎通は極めて困難		0%		判断が難しい		0%				
休日支援状況	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味を通じて本人の生活意欲が維持できるよう支援している。 ・近隣のコンビニエンスストアへ職員が同行し、安全に楽しんで外出できる様に支援している。 											
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思や人権の尊重を重視し、その人らしい生活が出来る様に支援している。 ・利用者の緊急時はマニュアルに沿って、速やかに他職種・家族との連携を図り対応している。 ・安心して生活して頂くための環境作り・職員配置を行い、常時見守りを徹底している。 											
【基本方針】												
1 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。												
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。												
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。												

令和3年度 グループホームまんまん
【外出頻度・利用期間・手帳種類・苦情処理】

【年間外出頻度】

行き先	延べ回数
地域の行事・交流 (行事、点字他の勉強会、行政手続等)	2回
買い物 (外食・日用品買い物)	1回
自宅(外泊含む)	5回
病院受診	235回
趣味・娯楽	0回

※新型コロナのレベル状況に応じて外出支援を行っている

※その他、社会生活への参加意欲を高める為、近隣のコンビニへの同行支援を実施している。

【利用者の利用期間状況】 ※開設:平成22年4月 (令和4年3月末時点)

利用契約後の在籍期間	人数
10年	11人
9年	0人
8年	1人
7年	2人
6年	0人
5年	0人
4年	1人
3年	0人
2年	1人
1年	2人
1年未満	2人

計 20 人

【各種手帳所持状況】

手帳種類	人数
身体障害者手帳	19人
療育手帳	7人
精神保健福祉手帳	2人

※重複所持あり

【苦情解決】

内容	件数	解決件数
要望	5件	5件
苦情	0件	0件

※利用者本人より要望(食事、外出、他事業所サービス利用について等)問い合わせ、また家族からの要望(外出、外泊、コロナワクチン予防接種)があつている。その他、苦情にまでは至っていないが、支援に関するご意見等も頂いており、その都度解決に向け話し合いを行っている。
※全員懇談会については、新型コロナ感染症流行に伴い開催が難しく、状況を見ながら調整をし、開催している。利用者からのご意見については普段から傾聴し、利用者が納得・理解されるよう迅速に対応している。

令和3年度 グループホーム 利用状況

月 別 (単位:人)

月 別	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	18	494	18	540	46
5月	18	530	18	544	14
6月	18	524	18	540	16
7月	18	558	18	558	0
8月	18	531	19	587	56
9月	17	510	19	570	60
10月	18	518	19	587	69
11月	19	538	19	560	22
12月	19	546	20	601	55
1月	18	558	20	603	45
2月	18	500	20	560	60
3月	18	544	20	620	76
合 計	217	6,351	228	6,870	519
			前年比		108.2%

市町村別 (単位:人)

市町村	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	338	1	365	27
熊本市	9	3,112	10	3,222	110
西原村	2	252	1	365	113
南阿蘇村	2	710	2	730	20
益城町	2	723	2	730	7
多良木町	1	352	1	365	13
相良村	1	365	1	365	0
球磨村	2	499	2	728	229
					0
					0
					0
合 計	20	6,351	20	6,870	519

障害区分別 (単位:人)

区分	令和2年度		令和3年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	2	607	2	471	-136
区分4	7	1,801	6	2,190	389
区分5	9	3,069	9	3,071	2
区分6	4	874	4	1,138	264
合 計	22	6,351	21	6,870	519
	平均支援区分合計	29,614	平均支援区分合計	32,356	
	平均障害支援区分	4.7	平均障害支援区分	4.7	

※区分変更の為、利用者数重複あり

※利用定員は20名であるが入院・外泊等により延利用者数に変動あり

令和3年度 相談支援事業報告書

事業所名：朋暁苑指定相談支援事業所

1 事業の目的

利用者の有する能力及び適性（特性）に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対して必要な計画相談支援サービスを障害者総合支援法に基づき適切に提供することを目的とする。

2 相談支援件数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

計画相談支援	件数
朋暁苑利用者	35件
グループホーム	6件
通所	20件
居宅介護	24件
就労	7件
その他	8件
障害児相談支援	22件
<u>合計 122件</u>	

相談支援件数		令和2年度	令和3年度	前年度比
計画相談支援	計画作成件数(件)	87	100	+13
	モニタリング件数(件)	204	197	-7
障害児相談支援	計画作成件数(件)	24	22	-2
	モニタリング件数(件)	33	41	+8
計	計画作成件数(件)	111	122	+11
	モニタリング件数(件)	237	238	+1

3 契約状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

契約締結者数	人数	契約終了者数	人数
計画相談支援	3名	死亡	2名
障害児相談支援	1名	介護保険移行	1名
<u>合計 4名</u>		事業所変更	2名
		サービス利用終了	6名
		<u>合計 11名</u>	

契約者総数 合計 174名（前年度契約者総数 180名）



令和3年度
事業報告書

地域密着型介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム

託麻苑

1 施設の概要

事項	概要	備考
施設名	託麻苑	
所在地	熊本市東区戸島町460番1	
種別	介護保険法 地域密着型介護老人福祉施設 老人福祉法 特別養護老人ホーム	
開設年月日	平成28年6月20日	
利用定員	入居者 29名 ショートステイ 5名	
ユニット区分	全館を4ユニットで構成 1階 いちょうユニット 入居8床 ショート1床 つばきユニット 入居7床 ショート1床 2階 さくらユニット 入居7床 ショート2床 あさがおユニット 入居7床 ショート1床	
敷地	施設の敷地面積 2,607.55㎡ 駐車場の敷地面積 1,842㎡	
建物	鉄骨造2階建 建築面積 971.94㎡ 床面積 1,854.60㎡ 建築年月日 平成28年5月30日	
主な施設	事務室 1室 医務室 1室 相談室 3室 介護職員室 2室 多目的室 1室 地域交流室 1室 厨房 1室 利用者トイレ 12か所 職員用トイレ 2か所	
入浴設備	4か所 普通浴 1 座位式 1 車いす式 1 寝台式 1	
医務用機器	滅菌機、吸引機、携帯用吸引機、AED アンビュー、医薬品保管用冷蔵庫	
リハビリ機器	ホットパック、メドマー、歩行器(2個)、4点杖、 T字杖、重錘、セラバンド、ペグ	
地域交流室	80人収容 プロジェクタ、音響設備、舞台	
職員の状況 3月末現在	施設長 1 介護支援専門・生活相談員兼務 1 看護師 2 管理栄養士 1 介護職員 17 介護(パート) 4 事務員(パート) 1 厨房(パート) 4	合計 31人

2 入居者等の概要

【令和4年3月末現在】

(1) 利用申し込み・入退去の状況

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	累計
申込者数	84	19	28	27	8	15	166
入居者数	34	5	7	10	7	6	63
退去者数	5	5	8	10	8	6	36
現入居数	29	29	28	28	28	28	28

* R3年度退所者内訳 転所3 入院中に死亡1 看取り2

(2) 介護度別・男女別の状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	2	3	2	7
女性	1	2	9	9	21
合計	1	4	12	11	28

* 平均介護度 4.2

(3) 年齢別・男女別の状況

	65歳 ～	70歳 ～	75歳 ～	80歳 ～	85歳 ～	90歳 ～	95歳 ～	100 歳～
男性	0	1	1	1	2	2	0	0
女性	1	1	3	0	2	11	2	1
合計	1	2	4	1	4	13	2	1

*平均年齢 86.9 歳

(4) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用者数	3	1	2	1	6	8	10	7
利用日数	44	29	28	31	56	51	59	47

	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	11	10	6	3	68
利用日数	64	62	68	63	602

* コロナ感染症のため個室対応にて受け入れ

3 令和3年度年間行事実績

(1) 年間行事実績

月	行事名	場所	備考
4月	4/22 運営推進会議(第1回)	地域交流室	
5月	5/3 おやつ作り(1階)	つばきユニット	
6月	6/21 紫陽花見物(高山アジサイ園) 6/24 運営推進会議(第2回)	苑外 地域交流室	
7月			
8月	8/24 夏祭り(2階)・8/25(1階)	各フロアー	
9月	9/20 敬老会(午前1階)(午後2階)	フロアー毎	
10月	10/21 運営推進会議(第4回)	地域交流室	
11月			
12月	12/16 運営推進会議(第5回) 12/24 忘年会(クリスマス会)	地域交流室 地域交流室	
1月	1/1～1/7 初詣(手作り神社)	地域交流室	
2月			
3月	3/3 ひな祭り(地域交流室にて写真撮影) 3/25～3/30 花見(桃尾墓苑) 3/30 総合避難訓練(非常用設備取り扱い研修も併せて実施)	ユニット 苑外 施設内外	

*誕生会は、入居者様の誕生日に各ユニットで実施した。

*行事は1階・2階フロアーまたは、ユニット毎に実施する事が多かったが、クリスマス会は、地域交流室で入居者様・職員全員参加にて開催する事ができた。

*運営推進会議は、第1回・第2回・第4回・第5回は予定通り開催したが、第3回と第6回はコロナウイルス感染拡大の為、中止となった。

4 入居者支援の状況

(1) ケアプランの策定状況

ケアプランは、原則として6か月単位でモニタリングし見直すこととなっている。策定・見直しの際には、介護職員や看護職員によるモニタリング結果や医師の意見を踏まえて、担当者会議(家族、苑の各専門職で構成)において説明し、家族の同意を得ている。

令和3年度の月別策定・見直し状況は次の通り。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
6	6	3	9	3	8	5	3	3

1月	2月	3月	合計
8	5	5	64

(2) 医務業務の実績

協力医療機関である本庄内科病院及びパール歯科総合クリニックと連携し入居者の健康管理を支援している。

◆傷病別年間入院者数

傷病名	人数	傷病名	人数
うっ血性心不全	4	気管支炎	2
肺炎	3	低血糖	1
腎盂腎炎	1	胸膜炎	1
胃癌術後	1		

◆死亡者(看取り含む)の状況

- ・女性(96歳) 病名:老衰(看取り)
- ・女性(97歳) 病名:心不全(病院にて)
- ・女性(100歳) 病名:老衰(看取り)

◆医療的ケアの必要な入居者

- ・吸引 9名
- ・経管栄養 2名

◆歯科による口腔ケア研修の実施状況

コロナ感染防止のため口腔ケア研修は中止

◆コロナウイルス感染症防止策の実施

- ・コロナワクチン接種の実施 (令和3年6月1回目、2回目、令和4年3月3回目)
- ・令和3年5月～6月 週に1回全職員のPCR検査を実施
- ・令和4年3月～ 週に1回全職員の抗原検査を実施
- ・入居者・職員の健康チェック機能の強化(1日2回検温)
- ・生活環境の整備(換気・室温・湿度管理・手摺拭き等)
- ・コロナワクチン接種に向けた家族への説明及び医療機関との調整
- ・感染時に必要な備蓄品のチェックと補充

(3) リハビリテーションの実施状況

機能訓練指導員を中心に看護師・介護職員による生活リハビリを実施している。食事や排せつ、整容、入浴など本人の機能を生かした支援を行っている。

(4) 栄養管理業務の実績

◆療養食の内訳

療養食名	対象者数	療養食名	対象者数
糖尿食	2名	腎臓職	0名
心臓食	2名	高血圧食	8名
貧血食	0名	脂質異常食	1名

◆食形態の内訳

食形態	対象者数	食形態	対象者数
常菜	2名	ミキサー	0名
一口大	8名	経管栄養	2名
ソフト	11名	その他	1名
ゼリー	4名		

※その他は、通常の食事が食べられず、栄養補助食品のみ摂取されている方です

◆行事食の実施状況

月	行事食名
4	筍ご飯
5	こどもの日弁当（オムライス・えびふらい）
6	父の日（赤飯・刺身）あじさい寿司
7	七夕ソーメン 土用丑の日（うな丼）海の日（海鮮焼きそば）
8	お盆（精進の炊き合わせ）
9	敬老の日行事食（松茸御飯・刺身）
10	十三夜（栗ご飯）
11	季節の果物（柿）
12	クリスマス（オムライス・レモンチキン）大晦日（年越しそば）
1	元旦（御節・雑煮）鏡開き（ぜんざい）小正月（赤飯・刺身）
2	節分（散らし寿司・鰯つみれ）バレンタインデー（ハートのチョコプリン）
3	ひな祭り（散らし寿司）ホワイトデー（ハートの苺プリン）

評価

- ・令和3年度より、業者が東臣からナリコマエンタープライズに変わって、食事形態の内容が変わりました
ソフト食とゼリー食が加わり、入居者様に合った食形態に、より近づけられるようになりました。
- ・献立が業者委託になり、散らし寿司などの変わり御飯、いろんな郷土料理が増えたことに加え、施設で手作りデザートや、アイス、季節の果物を提供して、入居者様に喜んで頂いています
- ・ADLの低下に伴い、自力摂取が難しくなっている方が増えてきました
出来るだけ自力摂取が維持出来るよう、他職種と連携して工夫を行っています

(5) 苦情相談受付状況

◆苦情相談受付状況

相談者	件数	主な相談内容
入居者	3件	接遇マナー(職員の言葉遣い・態度)
入居者ご家族	1件	短期入所利用者の送迎対応・整容について
その他	0件	なし
合計	4件	

5 職員研修の実績

◆令和3年度の職員研修(オンライン研修含む)

	研修名	主催	参加人数
6月	通知機能を使いこなすために知っておきたい6つのポイント(オンライン)	パラマウントベッド	2名
	法人内セミナー(オンライン)		2名
	排泄ケア研修(オンライン)	ユニ・チャーム	1名
7月	介護施設における安全対策担当者養成研修(オンライン)	全国老人福祉施設協議会	1名
	有料老人ホーム等介護従事者権利擁護推進研修(オンライン)	熊本県認知症対策・地域ケア推進課	1名
8月	クッションを使ったポジショニング研修(オンライン)	パラマウントベッド	23名
9月	医療・介護・地域との連携(オンライン)	九州老人福祉施設職員研究Web大会	3名
	高品質サービスへの取り組み(オンライン)	九州老人福祉施設職	9名

		員研究 Web 大会	
9 月	社会福祉法人・施設の更なる取り組み(オンライン)	九州老人福祉施設職員研究 Web 大会	1 名
	福祉職場 OJT 研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	熊本県老人福祉施設口腔ケア研修会(オンライン)	熊本県老人福祉施設協議会	1 名
10 月	おむつパッド選定、尿測方法セミナー(オンライン)	ユニ・チャーム	1 名
	尿測をまとめる方法、日誌の味方セミナー(オンライン)	ユニ・チャーム	1 名
	熊本県介護施設等従事者権利擁護推進研修(オンライン)	熊本県認知症対策・地域ケア推進課	1 名
	医療的ケア教員講習会(オンライン)	ハッピー&スマイルカレッジ	1 名
	社会福祉法人労務研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	2 名
11 月	業務改善研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	モチベーションアップ研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	認知症ケア研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	おむつアウトター選定セミナー(オンライン)	ユニ・チャーム	1 名
12 月	社会福祉法人制度改革対応セミナー(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	職場リーダーの「伝える力」研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
1 月	介護事業者のための業務継続計画(BCP)セミナー(オンライン)	中部産業連盟	3 名
	介護報酬改定における LIFE 研修会(オンライン)	熊本県老人福祉施設協議会	3 名
2 月	アンガーマネジメント研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1 名
	ユニットリーダー研修(オンライン)	日本ユニットケア推進センター	1 名
3 月	熊本県老人福祉施設協議会施設長会議(オンライン)	熊本県老人福祉施設協議会	1 名

令和3年度 事業報告書

介護付有料老人ホーム
特定施設入居者生活介護事業所

令 寿

1 施設の概要

所在地	〒861-8038 熊本市東区长嶺東2丁目28-80
施設名称	介護付有料老人ホーム 令寿
設置法令	老人福祉法：有料老人ホームの許可施設 介護保険法：特定施設入居者生活介護事業所の指定施設 指定番号：4370114573
開設者	社会福祉法人託麻会 理事長 満永壽博
管理者	施設長 吉野正孝

敷地面積	4,825㎡
延床面積	3,358㎡（全体3,965㎡）
構造	鉄骨造4階建て
居室数・定員	18㎡タイプ72室・72人、29㎡タイプ3室・3人 合計 75室・75人
駐車台数	40台 うち外来者用8台
主な施設	1階：地域交流室、厨房室 2階から4階：トイレ付居室75室、食堂兼リハコーナー3室、ゲストルーム3室、テラス、バルコニー、入浴施設6か所、多目的トイレ4か所、エレベーター1基、和室、多目的室、洗濯室、屋外非常階段

2 職員の状況

<職員配置> (R4年3月末現在)

	常勤職員 職種	現職員数	パート職員 職種	現職員数
事務・相談	・施設長 ・副施設長 ・統括部長 ・事務長 ・事務員 ・生活相談・介護支援専門員	1 1 1 1 1 3	管理員	1
生活支援	・介護職員	17		
健康管理	・機能訓練指導員 ・看護職員	2 4		
合計		31人		1人

3 R3年度入居者の状況 (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画	20	30	40	45	50	55
実績	22	22	24	24	22	23
月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月
計画	60	65	70	70	70	70
実績	26	27	26	28	31	36

計画達成率 51%

入居率(定員75人) 48%

<介護度別> R4年3月末現在

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
0	3	2	15	6	6	3	1	36

男12人 女24人 平均年齢89.5歳

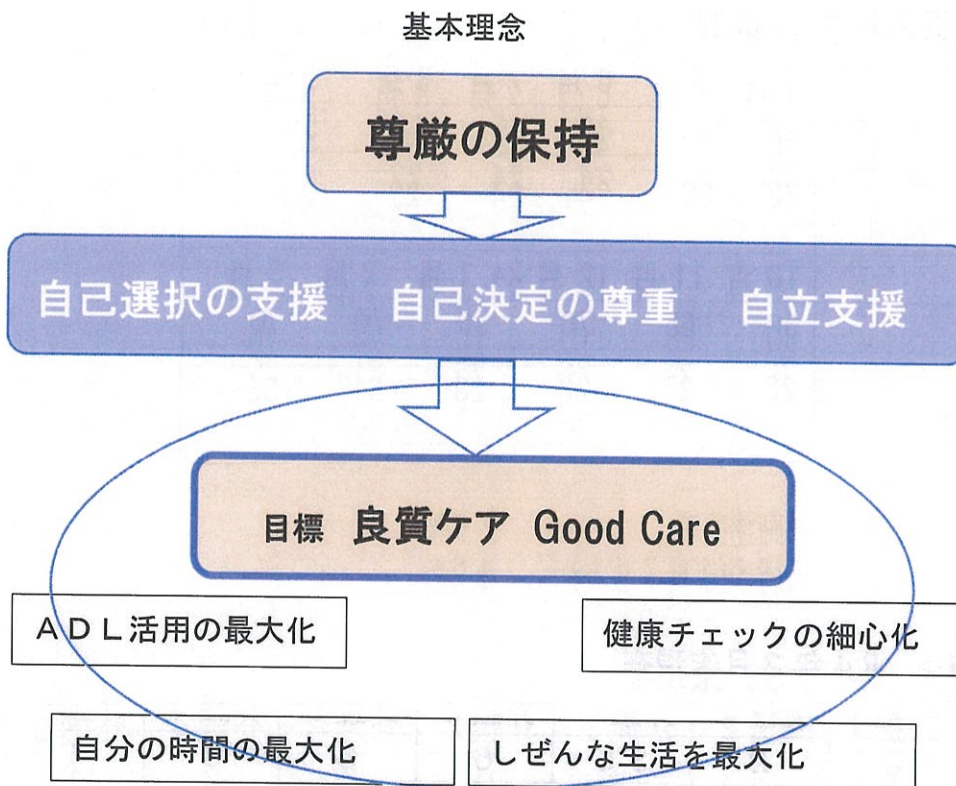
1 運営の基本方針

特定施設入居者生活介護・介護付き有料老人ホーム「令寿」は、当法人が経営する特別養護老人ホーム「託麻苑」や障がい者支援施設「朋暁苑」で培った老人福祉、障がい者福祉の運営ノウハウを結集して運営に当たっています。

ケアの基本理念を「尊厳の保持」とし、「自己選択の支援」「自己決定の尊重」「自立支援」を基本方針とした「良質ケア (Good Care)」を目指します。入居者の「一時的にでもできるADL」、「実践しているADL」を正しく評価・分析し、生活、リハビリ、看護等の総合的な支援体制を構築します。

そのために、職員教育を充実させ、介護と看護の連携を高めながらホームでの新たな生活スタイルをサポートしていきます。また介護中の身体へのご負担を少なくするために最新の福祉機器による「ノーリフトケア」の導入、さらには事務作業の効率化のためのICT導入も進めています。

一方で、周辺地域での高齢化が高まる中で、福祉施設が持つ専門的ノウハウや基盤を有効活用し、地域福祉の向上のため地域の共助、自助能力向上に取り組み、地域社会での社会的責任を果たしていきます。



2 入居者の生活支援

ホームでは、運営方針に基づき入居者様の一人一人の暮らし方に合った生活支援を行います。

入居者様のご要望にお応えできるサービスをご提供するため、介護支援専門員がご本人やご家族、主治医等から要望や留意点などをお聞きします。その結果に基づき最適な暮らしのプランを作成し、入居者様及びご家族の同意を得た上で、プランに沿った支援を実施します。

ホーム運営の基本目標 Good Care

ホーム運営の基本は、介護サービスや健康管理、生活支援により、より充実した健康的な暮らしができることです。そのような暮らしを実現していくために、次の4つに着目した Good Care を目指します。

ADL活用の最大化

ADLとは、移動・排泄・食事・更衣・洗面・入浴などの日常生活動作 (Activities of Daily Living) のことを言い、ADLが低下する背景には身体機能と認知機能の低下と精神面・社会環境の影響があります。ADLと身体・認知機能、精神面、社会環境は相互に作用し合っており、一つでも機能が低下するとADLの低下へとつながります

要介護状態にある入居者は、基本的に何らかのADL低下がみられ機能回復には困難なケース、多くの労力が必要なケースと様々です。ホームでは残存能力に着目しできる限り活用していくことで、全体的なADL低下を予防していくことを目標とします。そのためには、日常生活のあらゆる場面において入居者の活動性を高める支援を行っていきます。

自分の時間の最大化

ホームの生活は、団体生活に近い状況にあります。それが好ましいとき、好ましくないとき、人それぞれの違いがあります。入居者様の生活スタイルを尊重しながら、個室でゆっくり過ごされる時間、食堂・リビングで団らんしながら過ごされる時間など、自己決定による自立した生活が可能となるよう支援します。

☆特色・・・音楽のある暮らし

日常生活の中にセラピーとして音楽を取り入れます。

朝のお目覚めの時刻や昼食・おやつタイムなどに音楽をお聞きいただきリラックスした、ゆっくりとした時間をお過ごしいたいただきます。

しぜんな生活を最大化

在宅生活では、暑さや寒さなど自然を感じる事が日常のことです。ホームの中では、年間を通じて空調管理されており、季節感も失いがちになります。ホームでは、少しでもそういった季節感を感じる機会として、時々外に出たり、テラスを散歩したりして楽しんでいただきます。またおやつタイムには、季節感のある果物等の企画を組んでいきます。

健康チェックの細心化

健康管理は、ホームの最大の使命です。看護師を配置し、毎日欠かさずバイタルチェックや服薬管理を行います。定期的な通院送迎はもちろん、普段と様子が違うと感じた場合には適宜スタッフが送迎・付き添いを行いして医療機関を受診、又は訪問診療していただくよう、万が一に備えます。

また体調不良のご入居者には看護師からご家族への連絡を行い、ご要望に応じて看護記録などを閲覧できるよう、ご家族との連携にも努めます。

☆特色・・・誤嚥性肺炎防止のための口腔ケア

高齢者の誤嚥性肺炎は、口腔ケアの徹底で大幅に軽減できます。
訪問歯科医と連携し口腔ケアに取り組みます。

(1) 令和3年度の取り組み

(1) 重点取り組み

①感染症、新型コロナ対策の徹底

ご入居者様、職員の予防ワクチン接種を行い、県のリスクレベルに応じて感染防止対策を徹底しました。

コロナワクチン接種	第1回目	6月15日、17日
	第2回目	7月6日、7日
	第3回目	R4.3月9日、16日

県のリスクレベルに応じて原則面会禁止、外出、外泊の禁止
感染防止対策として、マスク着用、手洗い、消毒、体温測定等を実施

※職員1名の新型コロナウイルス感染が判明したので、保健所の指導に基づき感染拡大防止対策を実施(2月14日~2月19日)

②ノーリフトやICT化の推進

運営の基本方針に定めた「ノーリフト」の普及とICT化による業務改善を進めました。

ア) ノーリフト機材を安全に十分に使いこなすための習熟訓練の実施。 ノーリフト研修会実施 2回 ノーリフト勉強会実施 2回 全て施設内研修会及び勉強会
イ) ご家族とのオンライン面会実施 20回 新型コロナ感染防止のため原則面会禁止で、基本オンライン面会

③入居促進

病院や居宅介護事業所への営業活動と共に、入居者募集広告等を実施しました。

営業活動 施設長、池上：ささえりあ、居宅介護支援事業所等32ヶ所
ケアマネの飯干、阿蘇品、下田部長：病院、居宅介護支援事業所等28ヶ所訪問

入居者の紹介会社(有料)と契約 みんなの介護(ネット)他の全部で5社

広告掲載 ポスティング、すぱいす、雑誌「たより」、熊日新聞、電柱案内看板
ネット令寿情報のアップデート みんなの介護、ホームページ

営業企画 完全個別相談会(3/12, 19, 26)

(2) 健康管理

【入居者様の健康管理】

- ・入居者様が安全に健康な生活が送れるように、日々の健康観察を行い、体調の変化の早期発見・対応に努めました。
- ・訪問診療のまつもと在宅クリニックと新たに契約しました。

受診実績 (令和3年4月～令和4年3月)

受診合計 640件

内訳 訪問診療 235件

協力医療機関(主治医)受診 142件

他科受診、緊急・臨時受診 263件

○看取り体制について看取り委員会で検討

【職員の健康管理】

- 定期健康診断実施、日勤者は年1回、夜勤者は年2回実施。
- 介護職員の腰痛検査を年2回実施。
- 年1回職業性ストレスチェックの実施
- インフルエンザの予防接種実施
- 出勤時に体温測定、体温の測定

(3) 機能訓練

入居者の健康維持・増進を図るとともに、関節の拘縮や血管障害等の緩和・予防のため、物理療法や運動療法を行いました。入居者様が増えてきたので集団機能訓練を加えました。

- ・理学療法士及び作業療法士(R3.5月～8月)による機能訓練実施延べ人数
R3.4月～R4.3月 2,697人 1日平均 10.7人
- ・臨床心理士による回想法
R3.9月～R4.3月 421人 1回平均 15.3人

(4) 行事・レクリエーション

新型コロナウイルス感染防止対策のため外出が制限される中、入居者様が心豊かな生活をしていただくために、行事・レクリエーションの充実に取り組みました。

月	行 事
4月	お花見
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕まつり
8月	夏祭り そうめん流し
9月	敬老会
10月	運動会
11月	開設1周年記念式典 紅葉見学
12月	クリスマス会
1月	正月遊び
2月	節分・豆まき
3月	ひな祭り

毎月の定期的な行事

- ☆お誕生会
- ☆お楽しみカラオケ会
- ☆お買い物

- ・朝レク ・朝9時30分より、職員にて2階、3階の食堂・機能訓練室で歌と体操を実施
- ・午後レク ・午後2時20分より、職員講師及びボランティア講師にて実施

[職員講師] 脳トレ、各種ゲーム： 介護スタッフ
 ピアノ： 前田勝美、阿蘇品さやか、田中剛
 三味線： 久原圭嗣
 大正琴クラブ： 前田勝美
 回想法： 下田博子
 抹茶を楽しむ： 施設長

[外部講師] みんなで歌おう： 吉野早枝子
 オカリナ演奏： キア口託麻 井上千穂先生他
 英語で歌おう： 日隈耕治先生
 日本舞踊： 美智仁会 今村美智仁先生他
 初釜： 裏千家 九反田もと子先生

※外部講師によるレクリエーションは、県のリスクレベルがレベル0～1の時実施(11～12月実施)

3 職員研修及び委員会活動

当施設が目指す「良質ケア Good Care」のために、計画的な研修を実施しました。外部研修では、ZOOM研修が増えてきました。
委員会活動は10の委員会で行い、特に給食・口腔委員会は活発な意見が出ました。

(1) 職員研修

内・外部	研修区分	研修項目	対象者
内部研修	ビジネス研修	①新入職者研修 1/10 ②接遇マナー研修 10/1	新入職者 介護
	介護応用	①ノーリフト技術研修 11/22、11/29 ②ノーリフト勉強会 10/15 10/29	介護・看護
	感染対策	①第1回勉強会 7月 ②第2回勉強会 11月	介護・看護
	身体拘束廃止、虐待防止	①身体拘束廃止に係る研修 4月 6月 12月 ②高齢者虐待防止に関する研修 5月	全職員
	業務研修	①車椅子ポジショニング研修 8/18 ②嚥下勉強会 7/22 7/29 8/5 ③トロミ研修会 11/2 11/4 ④看取りケア勉強会 7月 11月	介護・看護
	安全衛生	①セルフケアについて 8/18 ②腰痛予防 9/21 ③脳卒中について 11月 ④アルコール依存症、タバコ 1月	安全衛生 委員会委員
外部研修		①事業所管理者セミナーZOOM 8/20 ②甲種防火管理新規講習 8/17-18 ③ZOOM研修看取りケアについて 2/22	施設長、副 施設長 猶崎、野口 施設長

(2) 委員会活動

安全衛生委員会 堀内厚美委員長 毎月開催実施
リスクマネジメント委員会 谷口智之委員長 //

感染対策委員会	下津紀久子委員長	//	随時開催
身体拘束・虐待防止委員会	倉岡樹実委員長		年4回開催
給食・口腔委員会	橋本清美委員長		毎月開催実施
ノーリフト・車椅子管理・褥瘡予防対策委員会		//	
行事運営等・ケア向上・接遇委員会	下田博子委員長	//	
看取り委員会	下津紀久子委員長	//	
物品管理・環境美化向上委員会	満永智美委員長	//	
防災委員会	谷口智之委員長		年2回開催

4 その他

① 美味し食事の追求

ご入居者様の一番の楽しみである食事が美味しいと言われるように改善に取り組みました。

給食委員会の活発化 毎月1回開催

- ・ ご飯は、ひのひかり100%に変更
- ・ 美味しい水——食用次亜塩素の使用
- ・ 託麻会農場産直の小鉢追加(胡瓜、トマト、桃等)
- ・ 旬の果物提供(11月干し柿の天ぷら、1月金柑の甘露煮、2月ハッサクの天然ジュース)

健康管理・減塩7g以下で調理、栄養補助食品の提供検討

② 花と緑の令寿づくり

- ・ 令寿畑の手入れと農産物の配布：厨房調理、職員、地域の人に野菜を配って喜ばれた。大根 玉ねぎ ねぎ等
- ・ 玄関の花瓶に季節の花を活けて来客者をもてなした。
- ・ 玄関花壇の植栽

③ 業務改善・品質向上

- ・ 11月より全職員のチャレンジ活動として{CS・5S運動}をスタートした。意識喚起のため、名札に「CS・運動実施中」を記載
5Sのうち特に「清掃」に注力(満永副施設長指導)
- ・ 令和4年度夏季賞与査定申告書の目標として設定

令和3年度 デイサービス令寿事業報告書

令和3年度もコロナ禍での営業となりましたが、前年度の運営を踏まえ感染症対策には十分な配慮を行い、車両やデイサービス内備品の消毒の徹底とを実施しています。活動についても大人数で密にならないようソーシャルディスタンスを保ち実施しています。

ご利用契約については、新規で29名のご利用者様と新規契約を締結しています。又、6名のご利用者様の契約終了があつています。(永眠4名、ご本人様希望1名、利用継続困難1名)

利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行う為、個別に通所介護計画書、個別機能訓練計画書を生活相談員、理学療法士にて作成し、計画書に基づいたサービス、訓練、介護を提供しています。

行事や活動の内容については前年度の反省を活かし、ご利用者様が飽きないように職員全員の意見を取り入れ充実を図っています。外部ボランティア(音楽、楽器演奏、日本舞踊)にも訪問頂き、ご利用者の皆様も大変喜ばれていました。又、令和3年度より、5S・CS活動に取り組み業務の効率化とご利用者様満足の向上に努めています。

お食事に関しても給食員会を通して委託業者との積極的な意見交換にて、その都度、改善しております。ご利用者様も味付けや献立に8割以上の満足を頂いています。

年間行事については外出訓練として予定していた、10月の紅葉狩りと1月の初詣は新型コロナウイルス感染症感染者拡大の為、中止となりました。

デイサービス利用状況

3月末日現在(単位:人)

利用月	利用人数	営業日	平均人数
4月	198	26	7.6
5月	218	27	8
6月	249	26	9.5
7月	270	27	10
8月	280	27	10.3
9月	273	26	11.5
10月	299	26	11.5
11月	374	26	14.3
12月	361	25	14.4
1月	343	24	14.2
2月	272	18	15.1
3月	392	27	14.5

3月末日現在(単位:人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4、5	計
12	14	16	12	3	0	57

デイサービス令寿年間行事

行事

月	行 事		
4月	花見、茶話会	10月	紅葉狩り:中止
5月	端午の節句	11月	令寿1周年記念式典
6月	運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕コンサート	1月	初詣:中止
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	雛祭り

令和3年度 ケアプランセンター令寿 活動報告

①ケアマネジメントの充実

○利用者の心身の状況や環境・意思及び人格を尊重し、公正中立な立場でサービスの調整を行う
《活動状況》

居宅サービス計画ガイドラインを使用してアセスメント聴取を行い、本人及び家族の希望を尊重しながら支援している。また、特定の法人にサービスが偏らないよう複数の事業所を紹介し、本人の選択によるサービス提供を行っている。

○総合的な居宅サービス計画を作成する上で必要な幅広い情報を収集する
《活動報告》

2ヶ月に1回行われている『東3地域包括・ケアマネ合同連絡会』に参加し、介護保険サービスだけでなく、地域の社会資源についても情報収集を行っている。

○地域の関係機関・団体等と連携を図るとともに、利用者様にも積極的に関係機関などの情報提供を行う

《活動報告》

1人暮らしでご家族の支援が難しい方や生活保護を受給されている方・虐待ケース・入退院を繰り返している利用者様も担当しているため、介護保険事業所だけでなく行政・ささえりあ・障害サービス事業所など多機関と連携を図りながら支援している。

○ケース記録の整備を行い、職員間での情報共有を行う

《活動報告》

毎月のモニタリング訪問に加え急な入院や早急に対応を要するケースなどもあり、記録は後回しになってしまうこともあるが、制度上必要な書類はしっかり整備できるようにしている。また、緊急時は担当ケアマネジャー以外でも対応できるよう、利用者様の緊急連絡先を共有している。

②介護支援専門員の資質向上を図る

○災害時の支援協力体制など事業所の持つ機能を地域に提供できるネットワークを構築する
《活動報告》

新型コロナウイルス感染症の影響等もあり積極的なネットワーク作りは行えていないが、大地震や感染症など災害時にも事業が継続できるようBCPの作成に取り組んでいきたい。

○事業所内外の研修に参加し連携を深め、マネジメントに活かす

《活動報告》

月1～2回の外部研修に参加し、専門職としての資質向上に努めている。また、10月には『自立支援型地域ケア会議』に事例提供者として参加している。

ケアプランセンター令寿 令和3年度実績報告

【令和3年度事業実績】

	R3.3時点 件数実績	R3年度計画 総件数	R4.3時点 総件数
要支援1	11	43	21
要支援2			
要介護1	6	13	17
要介護2			
要介護3	2	5	4
要介護4			
計	19	61	42

【令和3年度実績】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率
要支援1	10	47.6%	13	61.9%	17	81.0%	17	81.0%	19	90.5%	19	90.5%
要支援2												
金額	¥35,010		¥57,680		¥85,850		¥74,630		¥86,520		¥71,630	
要介護1	8	47.1%	8	47.1%	7	41.2%	11	64.7%	10	58.8%	10	58.8%
要介護2												
金額	¥92,660		¥75,890		¥65,120		¥130,970		¥97,430		¥96,930	
要介護3												
要介護4	2	50.0%	2	50.0%	2	50.0%	2	50.0%	3	75.0%	3	75.0%
要介護5												
金額	¥27,980		¥27,980		¥27,980		¥27,980		¥44,970		¥41,970	
件数総計	20	47.6%	23	54.8%	26	61.9%	30	71.4%	32	76.2%	32	76.2%
金額総計	¥155,650		¥161,550		¥178,950		¥233,580		¥228,920		¥210,530	
上記中のデ イサービス 令寿利用者 数	6		7		8		8		10		10	
デイサービ ス令寿利用 者総数	31		34		37		37		41		42	

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率	実績 (総件数)	進捗率
要支援1	20	95.2%	21	100.0%	21	100.0%	20	95.2%	21	100.0%	21	100.0%
要支援2												
金額	¥80,840		¥82,220		¥60,700		¥83,840		¥83,100		¥65,960	
要介護1	12	70.6%	15	88.2%	16	94.1%	19	111.8%	17	100.0%	17	100.0%
要介護2												
金額	¥136,120		¥175,620		¥179,650		¥213,440		¥172,160		¥182,920	
要介護3												
要介護4	2	50.0%	2	50.0%	3	75.0%	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%
要介護5												
金額	¥27,960		¥28,460		¥41,940		¥58,920		¥55,920		¥55,920	
件数総計	34	81.0%	38	90.5%	40	95.2%	43	102.4%	42	100.0%	42	100.0%
金額総計	¥244,920		¥286,300		¥282,300		¥356,200		¥311,180		¥304,800	
上記中のデ イサービス 令寿利用者 数	10		12		12		15		14		14	
デイサービ ス令寿利用 者総数	47		50		50		52		53		52	

